

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:

令和6年2月19日

事業所名

放課後等デイサービスおひさま2号館

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	2	職員の配置数は適切である	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○			ワンフロアで危険箇所は少ないものと認識しておりますが、都度点検を行い、必要に応じ適時改修を行います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			ミーティングをし、職員同士で共有しております。	今後どのような対策や改善が必要か日々課題を発見し、共有の上、改善策を模索します。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				保護者アンケートを職員間で共有し、保護者の意見を可能な限り取り入れてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所HPIに公開し、保護者に個別に配布しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		今後の課題として、引き続き評価受審を検討します。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○			研修動画の視聴などに取り組みましたが、引き続き感染症対策等の必要もあり、今年度は回数が限られたことから、今後は研修機会を増やしていきたいと思っております。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○			より具体的なアセスメントができるよう改善を検討します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員全体で活動プログラムを立案しております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			毎月様々な体験ができるよう企画実行しています。	視野を広げて様々な事にチャレンジしていきたいです。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			事前にスケジュールを立てて実行しております。	子ども達のニーズに対し、これまで以上に応えられるよう引き続き取り組みます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○			個別活動と集団活動という面からの検討が現状として不十分と感じることから、今後は組み合わせについての協議検討を充実させたいと考えております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				職員の出勤時刻等の関係で全員参加が難しいケースについて改善を検討します。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○			翌日支援前の打合せとなる場合があることから、速やかな情報伝達が必要な点については、当日中に共有できるよう改善を検討してまいります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		○			計画見直しの際のヒアリングと協議をより充実させたいと考えております。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		○			日程等によりばらつきがある点について、改善を検討します。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	○			学校との連絡を密に取り、個別の連携を図っています。	連携に困難が伴う児童についてもしっかり情報共有ができるよう努めてまいります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている			○		現在医療的ケアが必要な児童がおりません。必要な場合は対応を検討させていただきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている		○			法人本部により対応を行っていますが、事業所としての情報共有に取り組みます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	○			移行支援会議で提供させていただきます。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている		○			今年度は機会がなかったため、来年度の課題とさせていただきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 害のない子どもと活動する機会がある			○		取り組みとしては地域の活動への参加が中心となります。保護者の要望等を踏まえ改善を検討してまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	○			児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	○				送迎時や電話により共有に努めていますが、児童ごとに情報伝達の質と量の差が生じないよう改善に取り組みます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている			○		現在行っておりませんが、対応を検討します。	
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	○			変更は随時お知らせします。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	○			電話対応等以外にも、月に1回保護者とお話できる機会を設けております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		○			保護者同士の連携支援については、引き続き対応を検討してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	○			毎月通信を配布し、発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしている	○			個別に対応させていただいています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている		○		オープンデイとして月2回、事業所を開放しております。	オープンデイの訪問者がまだまだ少ないので、地域住民等への周知を今後の課題とさせていただきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		事業所における定期訓練のほか、市開催の防災訓練や防災講座に参加させていただきました。	他の訓練への参加も検討して参ります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○			現在、身体拘束を検討する事案が生じておりませんが、組織としての方針は、研修等の都度、確認・見直しの検討を行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		契約時に保護者の方に聞き取り等をさせていただきました、対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○			整備状況が十分とは言えないので今後の課題とさせていただきます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。